



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1996・97年度国際ロータリー・テーマ

国際ロータリー会長 ルイス・ピセンテ・ジアイ



1. 先達の歩みに敬意を払うことによって未来を築こう
2. 会員増強で未来を築こう
3. 職業奉仕の質を高めることによって未来を築こう
4. 次の世代を準備することによって未来を築こう
5. 平和な都市づくりに尽力し、未来を築こう
6. ロータリー財団を支援することによって未来を築こう

[本日のプログラム]

第417回 平成8年7月5日(金)

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1. 点 | 鐘 | 9. 7月セレモニー |
| 2. 国歌 | 斉唱 | 10. 新年度方針 |
| 3. ロータリーソング | | 会長・幹事 |
| | 「手に手つないで」 | 11. 点 |
| 4. 『四つのテスト』 | 唱和 | |
| 5. 食 | 事 | |
| 6. 会長の時間 | | |
| 7. 幹事報告 | | |
| 8. 各委員会報告 | | |

会長	伊東 忠寛
副会長	徳丸 彰一
幹事	赤木 達也
会計	宮原 建樹
総務	垂水 敏雄

佐土原ロータリークラブ	
例会日	毎週金曜日(12:30~13:30)
例会場	ホテル神宮寺 ☎0985-73-0015
事務局	宮崎郡佐土原町大字下田島20614-9
	佐土原町建築業協会内
	☎880-02 ☎(FAX)0985-73-7170

第416回例会記録

(1996. 6. 28)

☆会長の時間

藤堂孝一君

皆さん今日は、本日は第416回例会で、私の年度の最後の例会になります。

先週の21日に、宮崎市郡6RC会長・幹事会があり、福井幹事・私と次期会長伊東君・次期幹事赤木君の4名が出席しました。

情報交換の中で、宮崎中央RCは、例会日の昼食時間を正午から30分間設け、12時30分より例会を始めるように改めたい、ということでした。

その理由は、例会中の私語が多いので、例会の時間をたっぷり取るためだそうです。

6RCの現会長・幹事の最終会議でしたので、二次会まで計画しましたが、わが伊東忠寛君のマジック・ショーで大いに盛り上がりました。当番クラブの役目を無事果たすことができ、感謝している次第です。

さて、この1年間大変貴重な体験をさせていただき、自己研鑽・改革に資することができたと実感しております。

また、いろいろな方との面識を得まして、今後の自分の生き方に大きな指針を授けていただきました。

会長として何も役に立つようなこともできませんでしたが、皆様の温かいご支援とお励ましのお陰で、どうにか会長の大役を務めさせていただくことができました。衷心からお礼を申し上げます。

☆幹事報告

代理 赤木達也君

例会変更通知

*日向RC 7月10日 18:30

日向市 はまぐり荘

家族親睦会

☆6月セレモニー

今月、誕生日、結婚記念日をお迎える下記の方々に、会長より記念品をお贈りし、会員一同心からお祝い申し上げます。

◇誕生日お祝い

中武靖雄君

斎藤芳夫君

吉田康一郎君

◇結婚記念日お祝い

郡司武俊君

柳田光寛君

伊東忠寛君

☆出席報告

委員長 恒吉正志君

会 員 数	34名
H C 出席者数	27名
欠 席 者 数	7名
出 席 率	79.4%
メークアップ者数	4名
修 正 出 席 率	91.2%
欠 席 者 名	森田・大野・野崎

出席率の向上に今後ともご尽力をお願い申し上げます。1年間本当にお世話になりました。

☆会計より

中 武 靖 雄 君

本年度クラブ会計の概要を報告いたします。

ハッピー収入 501,702円
ビジター収入 75,600円
会費は6月分まで全員完納です。

支出は、本日の神宮寺ホテルの昼食代だけが未了です。

佐土原ロータリークラブ創立10周年記念行事準備積立金として、昨年7月から2,000円を毎月の会費に加算して納入していただいておりますが、本日、特別会計口座に移しておきました。前期に特別会計から806,607円借り入れていましたので、それを戻入しますと、現在1,568,241円が特別会計の残高になっています。

それと、当クラブ認証状伝達式関係会計から783,348円借り入れていますが、本年度は返戻するゆとりがありませんでしたので、次年度会計で戻入していただければと思います。

特別会計と認証状伝達式関係会計を合算しますと200万円を超えますので、それにハッピー収入を加えますと、創立10周年記念行事の資金もある程度確保できるのではないかと考えます。

後日、収支決算報告書を作成して、皆さんにご報告いたします。

次年度予算編成につきましては、新会計の方と十分打ち合わせていきたいと思っております。

終りになりましたが、皆様にはこの1年間本当にお世話になりました。

厚くお礼を申し上げます。

☆情報委員会より

委員長 佐野 保君

この前、加藤会員から雑誌委員会についてのご質問がありましたので、情報委員長の立場から説明させていただきます。

佐土原ロータリークラブ細則の第8条第1節に、雑誌委員会の任務が次のように掲げてあります。

*ロータリアン誌又はレビスタ・ロータリアンに対する読者の関心を喚起する。

*雑誌月間を主催し、クラブの例会プログラムにおいて毎月雑誌の簡単な紹介を手配する。

*新会員の教化に雑誌を利用することを奨励する。

*ロータリアンでない講演者に雑誌を贈呈する。

*図書館、病院、学校、その他の図書閲覧室のために、国際奉仕並びにその他の特別購読を取り計らう。

*ニュース資料と写真を雑誌編集者に送る。

*その他あらゆる方法によって、雑誌を本クラブ会員及びロータリアン以外の人々に役立てるようにする。

(註)レビスタ・ロータリアン

国際ロータリーの公式スペイン語版機関雑誌で、1933年から1ヶ月ごとに発行されていた。(29,000部)

1990年に廃刊となったが、地区雑誌として1992年復刊された。

※情報委員長の任期を終わるに当たり、皆様のご厚情を深謝申し上げます。

☆社会奉仕委員会より

委員長 伊東忠寛君

本年度の社会奉仕委員会の総括をいたします。

1. 道路愛護運動の推進

佐土原町が主催しました『道路愛護デー』に、社会奉仕委員会が中心となり、皆様のご協力を得まして、佐土原クラブとして参加することができました。

2. 全国的ボランティア活動への協力
財団法人ケア・ジャパンのボランティア活動である、使い損じ葉書等の回収、送付運動に参加し、869枚の葉書をケア・ジャパンに送りました。恐らく、本県で協力したのは、当クラブだけではないかと思えます。

3. ふるさと美化運動の推進

『自覚』標語看板を佐土原町へ寄贈し、ふるさと美化に対する町民の意識の高揚を図った。

社会奉仕賞、職業奉仕賞の設定は、次年度に引継ぎたいと思います。

☆1年間を回顧して

会長 藤堂孝一君

会員増強

30名の会員でスタートして、5名の会員を増強しましたので、目標数は達成したのですが、思いも掛けなかつた4名の退会者があり、実質1名の純増でした。

次年度のクラブ概況報告の手伝いをしていて感じたのですが、チャーターメンバー20名で発足し、創立後の入会者が35名、退会者が24名で、退会者が多

過ぎることです。累計55名の会員の中から、約半数の会員が退会したことになります。今後は退会防止が大きな課題となると思えます。

R I 財団への寄付金

年度当初に4名の方がポール・ハリス・フェローになっていただきましたので、第2730地区での、R I 財団への会員一人当たり寄付金額第1位の座は、当分維持できると思われます。

会員の平均年齢

本年度は53.9歳で、前年度の54.5歳より0.6歳若くなっています。

最高年齢76歳、最低年齢が32歳です。年齢構成では40代が12名で、ダントツです。

年間無欠席者

本年度は6名になると思えます。

☆会報委員会より

委員長 垂水敏雄

1年間、固い週報で魅力がなかった事と思えます。

次年度は会報委員会の機能を生かして、何とか楽しく読んでいただける週報にしたいと考えております。

そこをお願いですが、会長の時間と会員卓話は、要旨を600字程度にまとめた原稿をいただきたいと思えます。

会員の皆さんのご投稿もお待ちしています。仕事、趣味、ご家族等に関する楽しい情報をどしどしお寄せください。